

フリタコープ



発行
(株)フリタ
砕石部



創立33周年

四月十七日は、当社の創立記念日でした。お蔭様で三十三周年を迎えることができました。これからも皆様方から御愛顧頂けるよう努力を重ね、一年、一年着実に歩み続けていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

春が来た・・・

やつと雪も溶け遅い春がやってきました。景気は悪いのですが、陽気がいいとちよつと活気づきます。新年度に入り砕石事業部の話題をお知らせします。



☆ 環境整備

冬季間に汚れた県道の清掃と、当社搬出道路の修繕舗装工事を行いました。県道清掃は毎年しています。今年も全員で車道と歩道を箒とスコップで清掃し、2t車3台分の土砂を回収しました。地元の方々には、ご迷惑をおかけしていると思いますが、これからも折を見て清掃は続けていきたいと思っております。搬出道路は、冬季間にいたんだ部分の穴埋めを修正され、素人集団に施工ですが、路面のデコボコも



☆ 人事異動

4月から小規模ですが、配置転換を実施いたしました。砕石業務のプロとして、より広範的な業務に精通していくことが目的です。自分だけのカラや価値観に閉じこもらず、「人に喜んでもらえる仕事」ができる集団を目指します。

☆ 2次コンクラッター マントル交換

砕石プラントの主機である2次コンクラッターの消耗部品（マントル）の交換をいたしました。これで破砕能力も向上し、また1年間新たな気持ちでスタートします。

『円滑と安全』

～福知山線脱線事故に思う～

四月二十五日に発生した福知山線の脱線事故は、死者100名を越える大惨事となりました。縮され、その分余裕やゆとりがなくなるのはなぜでしょうか。人はそのゆとりを実感できないのはなぜでしょうか。目の前には、たかさんの「やりたくないこと」と「やるべきこと」があるのですが、二十四時間の長さは変わりません。砕石業務も「危険」と身近に接している業種なので、経済状況が厳しくなり、競争が激化してくると、つい「効率」とか「円滑」が優先されるという業務の密度を高めつつ、時間と心にゆとりを持つことは、一見相反することのようですが、「安全第一」という言葉が広くて深いものに感じられます。

福田運送に 天蓋車両導入！

福田運送に廃棄物収集運搬の専用車両として完全密閉式の天蓋車両が導入されました。外部からの雨水の流入はもちろん、内部からの流出、飛散も防ぐ構造です。今後、撤去作業で活躍してくれることでしょう。



編集後記

やつと春だぁ！
当社も昨年より少し遅くなりましたが、今年は二戸のある河川敷にお弁当とお酒を持って恒例のお花見をしました。夜桜って何ともいえない色っぽさがあったりしませんか・・・しっかり堪能してきました(^_^) 来年も笑ってお酒が飲めるように頑張ろうね！と...